

1億2100万円に拡大 住宅リフォーム 助成が継続に

上越市は平成26年度一般会計補正予算の説明で平成27年度に予定していた住宅リフォーム促進事業を前倒しして取り組むことを明らかにしました。

今回の事業費はこれまでで最大の1億2186万円です。住宅リフォーム工事を対象に補助し、地域経済の活性化と住環境の改善をめざします。今回の事業については、国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援助交付金（地域消費喚起・生活支援型）を活用して行われます。

受付期間は4月20日（月）～5月18日（月）まで。予定件数は1200件。対象工事費の20%（消費税込み20万円以上が対象）を補助します。

日本共産党議員団では、総括質疑の場で新年度予算の前倒しとして、予算枠が1億2千万円と拡大



写真と記事は直接関係ありません。

されたことについて評価するとともに、「より効果的に活用されるには、検討すべき要素もある」として、補助率、補助上限額を上げるべきではなかったかと問いました。市長は、「現状の制度設計が適当と判断した」と答えました。質疑は関係者から寄せられていく切実な願いに応えたもの、ぜひ再検討してほしいものです。

センター病院、新年度は経営状況分析

上越地域医療センター病院の今後の問題で村山市長は、これまでよりも一歩踏み込んだ発言をしました。

総括質疑で、近藤議員から「市民病院としてのあるべき姿」を問われた市長は、「同病院は急性期病院から脳卒中や骨折などでリハビリを必要とする患者を受け入れる回復期や終末期にある患者への緩和医療の提供など上越地域に不足している医療の取組と合わせ、訪問看護事業、訪問リハビリ事業等、在宅医療の充実にも積極的に取り組んできている」「今後、この病院の果たすべき役割は、かかりつけ病院としての質の高い医療の提供と回復期、慢性期医療の提供を柱としながら、超高齢社会の進展に伴い、需要が高まっている在宅医療を担っていることだと思

センター病院、新年度は経営状況分析

院や診療所などの地域医療連携の一層の推進や在宅医療の充実に向けた介護福祉との連携の必要性が高まってきていることから、これらの取組の推進に向け、新年度、健康づくり推進課内に地域医療推進室を設置し、体制を拡充した」「同病院の建物や設備は老朽化していることもあり、施設の改築も含めた今後のあり方について検討する必要がある。その際、病院の収支計画や財源確保などの課題の整理が必要であり、今後の病院経営にも大きく影響することから、27年度においては、病院の経営状況の分析調査をしていく」と答えました。

請求人の陳述は14日に ガス水道局談合疑惑

上越市ガス水道局の本支管工事における談合疑惑にかかわる住民監査請求に伴い、2月28日、陳述の場が設けられました。

監査委員側は会社名などが出る可能性があることなどを理由に、2日ほど前に当初の公開から非公開に方針変更をしました。しかし、このことを知らない市民が傍聴においでになりました。

請求者の代理人である新潟市在住の齋藤裕弁護士は、「こういう会は公開が原則だ。私がこれまでかかわってきた監査請求で非公開



【朝市にマンサク、ネコヤナギ】3月に入り、いよいよ春らしくなってきました。朝市ではマンサクやネコヤナギも出始めています。写真は三八市で撮りました。



監査委員側をきびしく追及する齋藤弁護士

というケースは初めてだ。なぜ非公開にするのか。傍聴を認めるべきだ」と激しく迫りました。協議の結果、会社名を出さないで陳述を行う、監査委員側からの質問の中で具体名を出すことにならるが、具体名が出るまでは公開で行うことで一致しました。市民やマスコミなどへの周知の関係もあり、この日は陳述が行われず、14日（土）午前9時から市役所で行うこととなりました。

はしづめ法一の 活動レポート

No.1699 2015.3.8
発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第三四七回

ハプニング

どんなところでも思いがけないことが起きることがあります。Yさんの母親であるハルイさんの葬儀の時もそうでした。喪主を務めていたYさんが告別式の途中、急に体調を崩し、喪主の席を離れて別室で安静にせざるを得なくなったのです。

二月の下旬でした。この日は市内で葬儀がいくつもあり、ハルイさんの告別式は午後一時半からとなりました。天気は晴れ、告別式が行われた虹のホールおおがたの駐車場からは霊峰米山の雄姿が見えました。

ハプニングが起きたのは告別式が始まってまもなくでした。私はこの日も寝不足のためうつらうつらしていたのですが、喪主とその家族が座っていた場所でざわざわした雰囲気となった段階で気づきました。見ると、喪主であるYさんの姿はありません。これにはびっくりしました。そして、隣に座っていたお連れ合いのS子さんと息子さんのTさんがメモらしきものを見て、話をしていたのです。

一瞬、何が起きているのかわからなかったのですが、Yさんの体調に異変が起きたなど直感しました。じつは、昨年だったか、一昨年だったか、代石の池や農道等の草刈作業と一緒になったときにも、体調を崩し、動けなくなったことがあったからです。後で聞いて知ったのですが、喪主のYさんはふらふらして座っていられなくなり、式場の係りの人の手を借りて別室へ行き、横になっていたということでした。

お連れ合いのS子さんと息子さんのTさんが話をしていたのは喪主の挨拶をどうするかでした。喪主に代わって挨拶するにしても、挨拶のメモが必要です。そのメモが見つかるまでかなり時間がかかりました。遠くで見えていただけで、交わす言葉は聞こえてこないのですが、メモが見つかったことはすぐにわかりました。S子さんのホッとした様子が顔に出たからです。

正直言って、告別式がその後どうなるか心配したのですが、それはまったく余計なことでした。喪主がいらないなか、Yさんの息子さんたちが見事にやるべきことをやってくれたのです。

まずは弔辞をのべた三男のKさん。長野県の養命酒製造で働いています。進行役の人から「では、Kさんから弔辞を」と言われ、ハルイさんの遺影の前に出ていきました。そこで、原稿もなしにいきなり、「おばあちゃん」と声を出しはじめたのです。

「学校から家に帰ったとき、お父さんもお母さんも仕事で留守でした。そんなとき、おばあちゃんがいてくれてホッとしたものです。えっと、それから、おばあちゃんは朝早くから新聞配達をして頑張っていたね……」

「えっと」という言葉が出るたびに、ハルイさんに関するいくつかのエピソードが紹介され、そのたびに参列者の心を打ちました。

告別式が終わって、喪主の挨拶のときがやってきました。やはり、Yさんの姿はありませんでした。今度は次男のTさんが父親の代わりを務めました。「百歳まで生きると言っていたおばあちゃんでしたので、少し早かったのですが……。これからも残された家族をよろしくお願いします」と、しっかりした口調でのべました。

告別式から四日後、Yさん宅を訪ねると、Yさんは起きたばかりでした。「さっきまで頭、上がらんかったが……。一時はどうなるかと思っただけ、運よく看護師やっている上増田のMさんもいたし、助かった」と言って微笑みました。

新酒と郷土料理を楽しむ会に140人…吉川区の遊ランド

先月の28日、私の母校であったスカイトピア遊ランドで8回目の「新酒と郷土料理を楽しむ会」がありました。新酒は「よしかわ杜氏の郷(株)」の酒です。体育館いっぱいの140

人が参加、にぎやかな会となりました。

オープニングでは、新潟明吟会吉川支部のみなさんが詩吟を、吉川あゆみ会のみなさんが花舞などの踊りを披露、大きな拍手を浴びました。

小池杜氏がますます腕に磨きをかけ、おいしい酒をつくってくれました。新酒は昨年10月に仕込んだものだそうです。すっきり、さっぱりした味に出来上がったと言います。郷土料理、コンニャクなどおいしいものがいくつも並びましたが、私は、フキノトウの料理が一番気に入りました。

会では、久しぶりに再会した人が何人もいて、「もうすぐだね。がんばってくんない」と激励されました。私のブログやレポートを読んでくださる方が何人かいて、「楽しみにして



いる。今度は何を書くのか」「茨城県阿見町の親戚のものがブログをよく読んでいて、おれ以上に吉川のこと詳しい」などと声をかけていただきました。うれしかったですね。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月25日(水)	3月4日(水)
上越南消防署	0.036	0.046
上越北消防署	0.057	0.040
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.057	0.060
頸南消防署	0.047	0.050
東頸消防署	0.040	0.040
高士分遣所	0.040	0.040
名立分遣所	0.060	0.053

春よ来い

第三四七回

ハプニング

どんなところでも思いがけないことが起きることがあります。Yさんの母親であるハルイさんの葬儀の時もそうでした。喪主を務めていたYさんが告別式の途中、急に体調を崩し、喪主の席を離れて別室で安静にせざるを得なくなったのです。

二月の下旬でした。この日は市内で葬儀がいくつもあり、ハルイさんの告別式は午後一時半からとなりました。天気は晴れ、告別式が行われた虹のホールおおがたの駐車場からは霊峰米山の雄姿が見えました。

ハプニングが起きたのは告別式が始まってまもなくでした。私はこの日も寝不足のためうつらうつらしていたのですが、喪主とその家族が座っていた場所でざわざわした雰囲気となった段階で気づきました。見ると、喪主であるYさんの姿はありません。これにはびつくりしました。そして、隣に座っていたお連れ合いのS子さんと息子さんのTさんがメモらしきものを見て、話をしていたのです。

一瞬、何が起きているのかわからなかったのですが、Yさんの体調に異変が起きたかと直感しました。じつは、昨年だったか、一昨年だったか、代石の池や農道等の草刈作業で一緒になったときにも、体調を崩し、動けなくなったことがあったからです。後で聞いて知ったのですが、喪主のYさんはふらふらして座っていらなくなり、式場の係りの人の手を借りて別室へ行き、横になっていたということでした。

お連れ合いのS子さんと息子のTさんが話をしていたのは喪主の挨拶をどうするかでした。喪主に代わって挨拶するにしても、挨拶のメモが必要です。そのメモが見つかるまでかなり時間がかかりました。遠くで見えていただけで、交わす言葉は聞こえてこないのですが、メモが見つかったことはすぐにわかりました。S子さんのホッとした様子が顔に出たからです。

正直言つて、告別式がその後どうなるか心配したのですが、それはまったく余計なことでした。喪主がいないなか、Yさんの息子さんたちが見事にやるべきことをやってくれたのです。

まずは弔辞をのべた三男のKさん。長野県の養命酒製造で働いています。進行役の人から「では、Kさんから弔辞を」と言われ、ハルイさんの遺影の前に出ていきました。そこで、原稿もなしにいきなり、「おばあちゃん」と声を出しはじめたのです。

「学校から家に帰ったとき、お父さんもお母さんも仕事で留守でした。そんなとき、おばあちゃんがいてくれてホッとしたものです。えっと、それから、おばあちゃんは朝早くから新聞配達をして頑張っていたね……」

「えっと」という言葉が出るたびに、ハルイさんに関するいくつかのエピソードが紹介され、そのたびに参列者の心を打ちました。

告別式が終わって、喪主の挨拶のときがやってきました。やはり、Yさんの姿はありませんでした。今度は次男のTさんが父親の代わりを務めました。「百歳まで生きると言っていたおばあちゃんだったので、少し早かったのですが……。これからも残された家族をよろしく願います」と、しつかりした口調でのべました。

告別式から四日後、Yさん宅を訪ねると、Yさんは起きたばかりでした。「さっきまで頭、上がらんかったけど……。一時はどうなるかと思っただけ、運よく看護師やっている上増田のMさんもいたし、助かった」と言つて微笑みました。

またしても100条委員会設置ならず

残念です。前回の各派代表者会議で市民クラブから出されていたガス水道局所管の本支管工事における談合疑惑解明のために地方自治法100条

に基づく特別委員会を設置したらどうかという提案は4日の各派代表者会議で話し合われましたが、反対が多く、実りませんでした。日本共産党議員団と無所属の石平議員だけが賛成、新政、創風、みらい、公明などは反対でした。

反対した会派からは、「100条調査にそぐわない」「公取委は通知から4年経ってから動いたことがある。待つべきだ」「設置しても有効に機能するか不安だ」「はじめから疑惑ありきではいけない。100条委設置はアクセルの踏み過ぎだ」などという声が上がりました。ちょっとひどすぎますね。なお、日本共産党議員団は談合疑惑で私が一般質問してからまもなく、100条委設置を議長に申し入れていました。

新酒を楽しむ会に140人

先月の28日、私の母校であったスカイトピア遊ランドで8回目の「新酒と郷土料理を楽しむ会」がありました。新酒は「よ



しかわ杜氏の郷(株)の酒です。体育館いっぱいの140人が参加、にぎやかな会となりました。

オープニングでは、新潟明吟会吉川支部のみなさんが詩吟を、吉川あゆみ会のみなさんが花舞などの踊りを披露、大きな拍手を浴びました。

小池杜氏がますます腕に磨きをかけ、おいしい酒をつくってくれました。新酒は昨年10月に仕込んだものだそうです。すっきり、さっぱりした味に出来上がったと言います。郷土料理、コンニャクなどおいしいものがいくつも並びましたが、私は、フキノトウの料理が一番気に入りました。何人もの懐かしい人と再会しました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	2月25日(水)	3月4日(水)
上越南消防署	0.036	0.046
上越北消防署	0.057	0.040
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.057	0.060
頸南消防署	0.047	0.050
東頸消防署	0.040	0.040
高士分遣所	0.040	0.040
名立分遣所	0.060	0.053